

保育目標	心身ともに健やかで、生き生きとした子ども
重点目標	「遊びを豊かにする保育環境」～子どもが夢中になって遊べる環境づくりをめざして～

項目	重点項目	達成目標・具体的施策	年度末評価
学びの場である保育の充実	「愛情」を基盤とした自己肯定感の構築	・子どもの自己肯定感を育むような関わりについて職員間で考える機会を年1回以上持つ。 ・保護者アンケートにおいて、「職員のお子さんへの接し方について」という項目への肯定的な回答が80%以上になる。	・自己肯定感を育むような関わりについて、会議の中で考える機会をもった。 ・保護者アンケートで90%以上の肯定的な回答があった。今後も引き続き心がけていきたい。
	資質・能力を育む保育の推進	・乳幼児共に、月1回以上フォトミーティングや読み取りを行い、子ども理解を深めて職員間で共有する場をもつ。 ・子どもの姿を共有した上で、室内・園庭環境の再構成を月1回以上行う。	・乳幼児共に会議や話し合いを通して職員の子ども理解は深まりつつあるが、学年・クラスを越えての子どもの姿の読み取りについても継続的に行うことができなかったため、次年度への課題としたい。 ・環境の再構成については、子どもの姿から定期的な見直しを行ってきた。特に、幼児クラスで夏に毎日コーナーごとに話し合いの時間をもって次の日の環境に活かすことができた。年間を通じて行っていきたい。
	ちがいを認め合える仲間づくり	・保育者が人権意識を高められるように、年2回以上の研修を行う。 ・「子ども一人一人を大切に受け止める」ことを意識して乳幼児会議の中で話し合う時間をもつ。	・北部ブロックでの研修、自園でのDVD研修、また行事ごとの人権研修などを通して、職員一人一人の人権意識を高めることができた。特に、自園での話し合いでは人権の視点で日々の保育の振り返りを行うことができた。
	健やかな体の育成	・健やかな体作りにつながる食育や生活習慣について、子ども自身が意識できるような声かけを行ったり子どもに話をする機会をもったりする。 ・乳幼児共に体を動かして遊べるような環境づくりをする。	・健やかな体作りということについて職員一人一人は意識しているものの、共有する機会を設けることができていなかったため、次年度の課題としたい。 ・体を動かして遊べるような環境を意識して作ることはできたが、園庭の使い方については乳児・幼児で共有できていないこともあった。次年度は計画的に話し合う時間を設けていきたい。
保育者の資質向上	職員研修・園内研修の充実	・講師を招いた園内研修を年1回行う。 ・職員が参加した研修での学びや気づきを園内で共有する場をもつ。 ・月に1回以上読み取りを行う中で、子どもの姿から育ちや学びを見つめる視点を職員一人一人が身につける。	・講師を招いた園内研修を通して、職員一人一人のモチベーション向上を図ることができた。 ・参加した研修での学びや気づきを共有しようと心がけてはいるが、自園の保育に活かしていきれていないことは今後の課題である。
	チーム保育の推進	・月1回以上行うフォトミーティングや話し合いの中で、写真や付箋などを使うことで全職員が自分の思いや考えを話せるようにしていく。	・様々な話し合いを通して「チーム保育」という意識はできつつある。学年を越えて連携するという意識も定着しつつあるが、日々の保育の中で学年のことだけに意識が向いてしまうこともあったので、次年度はさらに連携を進めていきたい。
開かれ信頼される園づくり	園情報の発信	・ホームページを月2回以上更新する。 ・保育システムを使って週1回、子どもの姿を発信する。 ・「こどもだより」を玄関に掲示し、来所者にも情報発信する。	・ホームページの更新が定期的に行えていない月があったので、次年度は意識して行っていきたい。 ・週1回の子どもの姿の配信や園内掲示については保護者や来所者にも好評だったので、継続して行ってきたい。

	小学校教育との接続	・小学校に出かける機会をもち、子ども同士の交流の場をもつ。 ・近隣の小学校に自園の園内研修の案内をしたり校内研修に参加したりして、互いの教育保育内容を知る機会をもつ。	・今年度は小学校へ遊びに行く機会が少なかった。次年度は年間計画を年度初めに作って定期的に行っていくようにしたい。 ・自園の研修会に、小学校から3名の先生に参加してもらうことができ、就学前の学びについて知ってもらう機会を持てたことは有意義だった。職員間の研修や交流の機会をもっていきたい。
	地域交流 子育て支援	・地域の田んぼや公園に出かける機会をもつ。 ・園庭開放を行い、地域の親子が来所した際には意識して声をかける。 ・送迎時に保護者と積極的に会話し、子どもの育ちを伝えることを全職員が意識する。	・地域の田んぼに出かけて代掻きや田植えの様子を見せてもらったり、地域の公園に出かけたりすることができた。 ・園庭開放で来所された親子と自然なかかわりができた。ただ、来所者は限られていたので、園庭開放について広く周知していきたい。 ・保護者との会話は意識して行っているが、子どもの育ちを伝えることは十分ではないので、全職員の意識を高めていきたい。
備考	・避難訓練年間計画表を作成し、毎月1回以上、避難訓練を実施する。 ・災害発生時の待機中に必要となる備品や備蓄品を用意し、年1回点検している。 ・毎月1回保育所、こども園、児童発達支援センターの担当者が集まり、リスク担当者会を開催し、各園のリスク事案について共有し再発防止に努めている。 ・リスク担当者会で検討し、作成した各種マニュアルを全園（保育所、こども園、児童発達支援センター）で共通理解し、安全・安心な園生活を送れるよう職員一同努めている。		

次年度に向けた重点的な改善点 今後取り組むべき重点的な課題	・読みとりを継続的に実施して子ども理解を深めることで、保育の質の向上を図る。 ・小学校教育との接続を意識した取り組みを進める。
----------------------------------	--